

# パラバドミントン

## 車いすカテゴリー

車いすカテゴリーには、下肢に障がいがあるため立ってプレーすることができない選手が出場します。

また、障がいの重い「WH1」と軽い「WH2」の2つのクラスがあります。

シャトルを打つ瞬間は胴体の一部が車いすに接していないといけません。



テクニカルショット！

## 立位カテゴリー

立位のカテゴリーは4クラスに分けられており、障がいの程度により、以下のようにカテゴライズされます。

- ①SL3（下肢障がい）
  - ②SL4（下肢障がい）
  - ③SU5（上肢障がい）
  - ④SS6（低身長）
- ※下肢障がいの程度によって2クラスに分かれます。

### 障がいの種類や程度ごとにクラス分け

1	WH1	車いす		シングルスを半面で戦う
2	WH2	車いす		
3	SL3	立位	下肢	シングルスを全面で戦う
4	SL4			
5	SU5		上肢	
6	SS6		低身長	



洗練されたフリースタイル！

クラスに応じたコート幅で行われるため、コート幅が変われば戦い方も変わります。

例えば、シングルスでコート幅半分で行われるクラスは、コースを狙ったテクニカルなショットが繰り返されます。

コート全体で戦うクラスでは、コースを狙いつつも緩急を使い分けた躍動感あるプレーが展開され、バドミントンの面白さを感じさせてくれます。

今回掲載している2種目のほかにも、パラリンピックには魅力的な種目が数多くあります。他の種目にも注目しながら、パラリンピックを盛り上げていきたいですね。

また、福岡市立障がい者スポーツセンターでも、東京パラリンピックを目指す選手の育成・強化に積極的に取り組んでいます。



それぞれクラスに応じたコート幅で行われるのも特徴の一つ！